

▶ 科目等履修生(教員免許状希望者)

隣接校種免許状の取得(教育職員免許法第6条別表第8による取得)

普通免許状を所持し、3年以上教員として良好な勤務成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する方が必要な単位を修得することで、隣接校種(幼稚園⇔小学校⇔中学校⇔高等学校)の教員免許状が取得できます。**履修登録にあたっては、勤務地の都道府県教育委員会の規則を確認**のうえ、科目を登録してください。また、**単位の内訳等詳細についても本冊子を持参し勤務地の各都道府県教育委員会で履修相談・確認をしてください**。教育職員免許法施行規則に定める科目と本学通信教育課程の開講科目の対照については、**142～147ページ**の開講科目一覧を参照してください(本学では登録科目の指導・確認は行えません)。なお、履修単位数は各都道府県教育委員会の指導により、法定上の最低単位数より多く履修しなければならない場合があります。

※受講方法「RT」「SR」「S」の詳細は**046ページ**を参照してください。

「RTorSR」は入学後、科目終了試験またはスクーリングを申込み際に受講方法を選択することができます。

※受講方法「SR」「S」は、スクーリングの受講が必要な科目です。スクーリングを受講するためには、入学後、スクーリング開講期ごとの申込みと受講費の納入が必要となります。

※法令上は、教員免除申請時に3年以上の教職経験が必要ですが、出頭時点で教職経験が3年未満であっても出願可能です。なおご自身の在職年数の証明については、出願前に都道府県教育委員会に確認してください。

別表第8

第1欄	第2欄	第3欄	第4欄
所要資格 受けようとする免許状の種類	有することを必要とする学校の免許状	第2欄に定める各免許状を取得した後、当該免許状又は第1欄に定める免許状に係る学校(これらに相当する義務教育学校の前期課程又は後期課程、中等教育学校の前期課程又は後期課程及び特別支援学校の各部を含み、幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。)における主幹教諭等(主幹教諭(養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。)、指導教諭、教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭又は講師をいう。)として良好な勤務成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有することを必要とする最低在職年数	第2欄に定める免許状を取得した後、大学において修得することを要する単位数
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3	6
小学校教諭2種免許状	幼稚園教諭普通免許状	3	13
	中学校教諭普通免許状	3	12
中学校教諭2種免許状	小学校教諭普通免許状	3	14
	高等学校教諭普通免許状	3	9
高等学校教諭1種免許状	中学校教諭普通免許状(2種免許状を除く。)	3	12

募集・出願

学習方法

正科生
(1年次編入学)

正科生
(2年次編入学)

正科生
(3年次編入学)

正科・
課程履修生

教員免許状・資格
取得に必要な科目

科目等
履修生

認定通信生

特修生

Q & A

諸規程・
問合せ先等

[教育職員免許法施行規則第18条の2]

免許法別表第8に規定する単位の修得方法は、次の表の定めるところによる。

受けようとする 免許状の種類	有することを 必要とする 学校の免許状	最低修得単位数							
		教科に関 する専門 的事項に 関する 科目	保育内容 の指導法 に関する 科目	各教科の 指導法に 関する 科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等に関する科目				大学が独自 に設定する 科目
					道徳の 理論及び 指導法	生徒指導 の理論 及び方法	教育相談（カウンセ リングに関する基礎的 な知識を含む。） の理論及び方法	進路指導及 びキャリア 教育の理論 及び方法	
幼稚園教諭 2 種 免許状	小学校教諭 普通免許状		6						
小学校教諭 2 種 免許状	幼稚園教諭 普通免許状			10	1		2		
	中学校教諭 普通免許状			10			2		
中学校教諭 2 種 免許状	小学校教諭 普通免許状	10		2			2		
	高等学校教諭 普通免許状			2	1		2		4
高等学校教諭 1 種 免許状	中学校教諭 普通免許状（2 種 免許状を除く。）			2			2		8

【備 考】

- ①教科に関する専門的事項に関する科目の単位の修得方法は、第4条第1項の表備考第1号に定める修得方法の例にならうものとする。
- ②各教科の指導法に関する科目の単位の修得方法は、小学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合にあっては、国語等のうち5以上の教科の指導法に関する科目(幼稚園教諭の普通免許状を有する場合にあっては生活、中学校教諭の普通免許状を有する場合にあってはその免許教科に相当する教科を除く。)についてそれぞれ2単位以上を、中学校教諭の2種免許状又は高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合にあっては、それぞれ受けようとする免許教科ごとに修得するものとする。
- ③大学が独自に設定する科目の修得方法は、第2条第1項の表備考第14号に定める修得方法の例にならうものとし、高等学校教諭の普通免許状を有する者が中学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合の大学が独自に設定する科目の修得方法は、国語の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては書道(書写を中心とする。)について1単位以上を、地理歴史の教科についての免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては「法学、政治学」、「社会学、経済学」及び「哲学、倫理学、宗教学」についてそれぞれ1単位以上を、公民の教科についての免許状を有する者が社会の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては日本史・外国史及び地理学(地誌を含む。)についてそれぞれ1単位以上を、理科の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験について1単位以上を、美術の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては工芸について1単位以上を(中略)修得するものとし、中学校教諭の普通免許状(2種免許状を除く。)を有する者が高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合の大学が独自に設定する科目の修得方法は、地理歴史の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては第5条第1項の表備考第1号に掲げる地理歴史の教科に関する専門的事項に関する科目のうち1以上の科目について1単位以上を、公民の教科についての免許状の授与を受ける場合にあっては同号に掲げる公民の教科に関する専門的事項に関する科目のうち1以上の科目について1単位以上を(中略)修得するものとする。

[教育職員免許法施行規則第18条の3]

【1】教育職員免許法第6条別表第8備考に規定する中学校教諭普通免許状(2種免許状を除く)を有する方が高等学校教諭1種免許状の授与を受けようとする場合の教員免許状にかかわる教科については、次の表の定めるところによる。

有している中学校教諭の普通免許状(2種免許状を除く。)の教科の種類	国語	社会	数学	理科	英語	美術
受けようとする高等学校教諭1種免許状の教科の種類	国語	地理歴史 又は公民	数学	理科	英語	美術

【2】教育職員免許法第6条別表第8備考に規定する高等学校教諭普通免許状を有する方が中学校教諭2種免許状の授与を受けようとする場合の教員免許状にかかわる教科については、次の表の定めるところによる。

有している高等学校教諭の普通免許状の教科の種類	国語	地理歴史 又は公民	数学	理科	英語	美術
受けようとする中学校教諭2種免許状の教科の種類	国語	社会	数学	理科	英語	美術

希望する教員免許状	根拠となる教員免許状(記載事項すべて)
幼稚園教諭2種免許状	小学校教諭(2種・1種・専修)免許状
小学校教諭2種免許状	中学校教諭(2種・1種・専修)免許状
	幼稚園教諭(2種・1種・専修)免許状
中学校教諭2種免許状	高等学校教諭(1種・専修)免許状
	小学校教諭(2種・1種・専修)免許状
高等学校教諭1種免許状	中学校教諭(1種・専修)免許状

募集・出願

学習方法

(1年次入学)
正科生

(2年次編入学)
正科生

(3年次編入学)
正科生

課程履修生
正科・
教員免許・資格
取得に必要な項目

履修生
科目等

認定通信生

特修生

Q
&
A

問合せ先等
諸規程・

▶ 科目等履修生(教員免許状希望者)

免許法第6条別表第8に基づく開講科目一覧

幼稚園教諭免許状

別表第8

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	PB3122	保育内容総論	1	SR	¥ 11,000
		PB2172	保育内容(健康)の指導法*	1	SR	¥ 11,000
		PB3132	保育内容(人間関係)の指導法*	1	SR	¥ 11,000
		PB3142	保育内容(環境)の指導法*	1	SR	¥ 11,000
		PB3152	保育内容(言葉)の指導法*	1	SR	¥ 11,000
		PB2182	保育内容(音楽表現)の指導法*	1	SR	¥ 11,000
		PB2192	保育内容(造形表現)の指導法*	1	SR	¥ 11,000

※5領域をすべて満たすよう都道府県教育委員会より指導を受けた場合は、「保育内容総論」を除く6科目6単位を登録してください。

小学校教諭免許状

別表第8

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング 費用
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国 語(書写を含む。)	PB2112	初等国語科教育法(書写を含む)	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		社 会	PB2120	初等社会科教育法	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		算 数	PB2130	初等算数科教育法	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		理 科	PB2140	初等理科教育法	2	RT	
		生 活	PB2150	初等生活科教育法	2	RT	
		音 楽	PB3030	初等音楽科教育法	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		図画工作	PB3040	初等図画工作科教育法	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		家 庭	PB3050	初等家庭科教育法	2	RT	
		体 育	PB3060	初等体育科教育法	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		外国語	PB2155	初等英語科教育法	2	RT	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		PA3110	道徳の理論と指導法 ^{※1}	2	RTorSR	(¥ 11,000)
	生徒指導の理論及び方法		PA3130	生徒指導・進路指導 ^{※2}	2	RTorSR	(¥ 11,000)
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		PA3140	教育相談の基礎と方法 ^{※2}	2	RTorSR	(¥ 11,000)

※1 幼稚園教諭免許状所持者が小学校教諭免許状を取得する場合に必要です。

※2 免許法施行規則に定める科目区分「生徒指導の理論及び方法」「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」をすべて満たすよう都道府県教育委員会より指導を受けた場合は、「生徒指導・進路指導(PA3130)」「教育相談の基礎と方法(PA3140)」の2科目を登録してください。

中学校・高等学校教諭免許状

●印：一般的包括的内容を含む科目

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第8

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
科目区分	各科目に含めることが必要な事項					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	PA3110	道徳の理論と指導法 ^{※1}	2	RTorSR	(¥11,000)
	生徒指導の理論及び方法	PA3130	生徒指導・進路指導 ^{※2}	2	RTorSR	(¥11,000)
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	PA3140	教育相談の基礎と方法 ^{※2}	2	RTorSR	(¥11,000)
大学が独自に設定する科目		PA1060	教育の最新事情	2	S	¥22,000
		PA2200	教育法規1	2	RTorSR	(¥11,000)
		PA2210	教育法規2	2	RTorSR	(¥11,000)
		PA3060	情報教育1	2	RT	
		PA3070	情報教育2	2	RT	
		PA3080	授業研究1	2	RT	
		PA3090	授業研究2	2	RT	

※1 高等学校教諭免許状所持者が中学校教諭免許状を取得する場合に必要です。

※2 免許法施行規則に定める科目区分「生徒指導の理論及び方法」「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」「生徒指導(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」をすべて満たすよう都道府県教育委員会より指導を受けた場合は、「生徒指導・進路指導(PA3130)」「教育相談の基礎と方法(PA3140)」の2科目を登録してください。

別表第8 中学校・高等学校(国語)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
	中学校	高等学校					
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		PD2010	●国語学概論	2	RT	
			PD2020	日本文法 1	2	RT	
			PD2030	日本文法 2	2	RT	
			PD2040	日本語表現法	2	RT	
	国文学(国文学史を含む。)		PD2050	●国文学 ^{※1}	2	RT	
			PD2060	●国文学史 ^{※1}	2	RT	
			PD2070	日本文学概論	2	RT	
			PD3010	古典文学	2	RT	
			PD3020	近代文学	2	RT	
	漢文学		PD3030	●漢文学	2	RT	
	書道(書写を中心とする。)	—	PD3040	●書道1	2	RT	
PD3052			書道 2	2	RT		
			計		24		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			PD2080	国語科教育法 1 ^{※2}	2	RTorSR	(￥ 11,000)
			PD3060	国語科教育法 2 ^{※2}	2	RTorSR	(￥ 11,000)
			PD3070	国語科教育法 3 ^{※2}	2	RTorSR	(￥ 11,000)
			PD3080	国語科教育法 4 ^{※2}	2	RTorSR	(￥ 11,000)
			計		8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『国文学(国文学史を含む。)]の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●国文学」と「●国文学史」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

募集・出願

学習方法

(1年次入学) 正科生

(2年次編入学) 正科生

(3年次編入学) 正科生

課程履修生 正科・

教員免許状・資格取得に必要な項目

履修生 科目等

認定通信生

特修生

Q & A

問合せ先等 諸規程・

▶ 科目等履修生(教員免許状希望者)

●印：一般的包括的内容を含む科目

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第8 中学校(社会)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	PE2010	●日本史概説 ^{*1}	2	RT	
		PE2020	日本史各論 1	2	RT	
		PE2030	日本史各論 2	2	RT	
		PE2040	●外国史概説 ^{*1}	2	RT	
		PE3010	外国史各論 1 (東洋史)	2	RT	
		PE3020	外国史各論 2 (西洋史)	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	地理学(地誌を含む。)	PE3030	人文地理学	2	RT	
		PE3040	自然地理学	2	RT	
		PE2052	●地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
		PE3050	地誌学概説	2	RT	
	「法学、政治学」	PE2062	●法学概論 1 (国際法を含む) ^{*2}	2	RT	
		PE2072	法学概論 2 (国際法を含む)	2	RT	
		PE3072	●政治学概論 1 (国際政治を含む) ^{*2}	2	RT	
		PE3082	政治学概論 2 (国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学」	PE2080	●社会学概論 ^{*2}	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2092	●経済学概論 1 (国際経済を含む) ^{*2}	2	RT	
		PE2102	経済学概論 2 (国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		計		46		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PE2130	社会・地理歴史科教育法 1 ^{*3}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PE3100	社会・地理歴史科教育法 2 ^{*3}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PE3110	社会・公民科教育法 1 ^{*3}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PE3120	社会・公民科教育法 2 ^{*3}	2	RTorSR	(¥11,000)
		計		8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『日本史・外国史』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●日本史概説」と「●外国史概説」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分が「」(カギカッコ)で囲まれた科目については選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついてる科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

別表第8 高等学校(地理歴史)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科に関する専門的事項	日本史	PE2010	●日本史概説	2	RT	
		PE2020	日本史各論 1	2	RT	
		PE2030	日本史各論 2	2	RT	
	外国史	PE2040	●外国史概説	2	RT	
		PE3010	外国史各論 1 (東洋史)	2	RT	
		PE3020	外国史各論 2 (西洋史)	2	RT	
		PA3030	教育の歴史と思想	2	RT	
	人文地理学・自然地理学	PE3030	●人文地理学※ ¹	2	RT	
		PE3040	●自然地理学※ ¹	2	RT	
	地誌	PE2052	地理学入門(地誌を含む)	2	RT	
PE3050		●地誌学概説	2	RT		
		計		22		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PE2130	社会・地理歴史科教育法 1 ※ ²	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		PE3100	社会・地理歴史科教育法 2 ※ ²	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		計		4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『人文地理学・自然地理学』の一般的包括的内容を満たすには、「●人文地理学」と「●自然地理学」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

●印：一般的包括的内容を含む科目

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第8 高等学校(公民)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	PE2062	●法律学概論 1 (国際法を含む)※ ¹	2	RT	
		PE2072	法律学概論 2 (国際法を含む)	2	RT	
		PE3072	●政治学概論 1 (国際政治を含む)※ ¹	2	RT	
		PE3082	政治学概論 2 (国際政治を含む)	2	RT	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	PE2080	●社会学概論※ ¹	2	RT	
		PA2050	教育社会学	2	RT	
		PE2092	●経済学概論 1 (国際経済を含む)※ ¹	2	RT	
		PE2102	経済学概論 2 (国際経済を含む)	2	RT	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	PE3060	●哲学概論	2	RT	
		PA2040	教育哲学	2	RT	
		PE2120	宗教学概論	2	RT	
		PE2110	倫理学概論	2	RT	
		PA2260	心理学概論	2	RT	
		計		26		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PE3110	社会・公民科教育法 1 ※ ²	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		PE3120	社会・公民科教育法 2 ※ ²	2	RTorSR	(¥ 11,000)
		計		4		

※1 免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついてる科目のどちらか一方を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

別表第8 中学校・高等学校(数学)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科に関する専門的事項	代数学	PF2010	●代数学1	2	RT	
		PF2020	代数学2	2	RT	
		PF2024	代数学3	2	RT	
	幾何学	PF2030	●幾何学1	2	RT	
		PF2040	幾何学2	2	RT	
		PF2044	幾何学3	2	RT	
	解析学	PF2050	●解析学1	2	RT	
		PF2060	解析学2	2	RT	
		PF2063	解析学3	2	RT	
	「確率論、統計学」	PF3010	●確率論	2	RT	
		PF3020	統計学	2	RT	
	コンピュータ	PF2066	●コンピュータ概論	2	RT	
		計		24		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PF2090	数学科教育法1 ^{※1}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PF3050	数学科教育法2 ^{※1}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PF3060	数学科教育法3 ^{※1}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PF3070	数学科教育法4 ^{※1}	2	RTorSR	(¥11,000)
		計		8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

募集・出願

学習方法

(1年次入学) 正科生

(2年次編入学) 正科生

(3年次編入学) 正科生

課程履修生 正科・

教員免許状・資格取得に必要な項目

履修生 科目等

認定通信生

特修生

Q & A

問合せ先等 諸規程・

▶ 科目等履修生(教員免許状希望者)

●印：一般的包括的内容を含む科目

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第8 中学校・高等学校(理科)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング 費用
教科に関する専門的事項	中学校	高等学校					
	物理学		PG2010	●物理学概論 1	2	RT	
			PG2020	物理学概論 2	2	RT	
	化学		PG3020	●化学概論 1	2	RT	
			PG3030	化学概論 2	2	RT	
	生物学		PG2030	●生物学概論 1	2	RT	
			PG2040	生物学概論 2	2	RT	
	地学		PG2060	●地学概論 1	2	RT	
			PG2070	地学概論 2	2	RT	
	物理学実験・化学実験・ 生物学実験・地学実験	「物理学実験、化学実験、 生物学実験、地学実験」	PG3012	●物理学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000
			PG3042	●化学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000
			PG2052	●生物学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000
PG2082			●地学実験(コンピュータ活用を含む) ^{※1※2※3}	1	S	¥120,000	
			計	20			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			PG2090	理科教育法 1 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3050	理科教育法 2 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3060	理科教育法 3 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PG3070	理科教育法 4 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			計	8			

※1 印の科目を履修するためには、「入学選考試験(理科実験科目)」の受験が必要です。▶041 ページ参照

※2 【中学校】免許法施行規則に定める科目区分の『物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験』の一般的包括的内容を満たすには、「●物理学実験(コンピュータ活用を含む)」「●化学実験(コンピュータ活用を含む)」「●生物学実験(コンピュータ活用を含む)」「●地学実験(コンピュータ活用を含む)」全ての単位修得が必要となります。

※3 【高等学校】免許法施行規則に定める科目区分が「 」(カギカッコ)で囲まれた科目については各科目区分の中で選択制となるため、対象となる本学開講科目名の●印のついている科目のいずれか1科目を修得すれば、一般的包括的内容を含む科目を満たしたことになります。

※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

別表第8 中学校・高等学校(音楽)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	PH2010	●ソルフェージュ 1 ^{※1}	1	S	¥150,000
			PH2020	ソルフェージュ 2 ^{※1}	1	S	¥150,000
		声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	PH2030	●声楽・歌唱1 ^{※1}	1	S	¥150,000
			PH2040	声楽・歌唱2 ^{※1}	1	S	¥150,000
			PH3010	声楽・歌唱3 ^{※1}	1	S	¥150,000
		器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	PH2052	●ピアノ1 ^{※1※2}	1	S	¥150,000
			PH3022	●吹奏楽 ^{※1※2}	1	S	¥150,000
			PH3032	●和楽器1 ^{※1※2}	1	S	¥150,000
			PH2062	ピアノ2 ^{※1}	1	S	¥150,000
		指揮法	PH2070	●指揮法	2	RT	
		音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) ・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	PH2082	●音楽理論1(楽典) ^{※3}	2	RT	
			PH2092	●音楽理論2(応用) ^{※3}	2	RT	
			PH3040	●音楽理論3(音楽史) ^{※3}	2	RT	
			PH2100	●作曲・編曲法1(基礎) ^{※3}	2	RT	
			PH3050	作曲・編曲法2(応用) ^{※1}	1	S	¥150,000
			計		20		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			PH2110	音楽科教育法1 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PH3060	音楽科教育法2 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PH3070	音楽科教育法3 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			PH3080	音楽科教育法4 ^{※4}	2	RTorSR	(¥11,000)
			計		8		

※1 印の科目を履修するためには「入学選考試験(音楽スクーリング必修科目)」の受験が必要です。▶042 ページ参照

※2 免許法施行規則に定める科目区分の『器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)]の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●ピアノ1」「●吹奏楽」「●和楽器1」全ての単位修得が必要となります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『音楽理論・作曲法(編曲法を含む。)
・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)]の一般的包括的内容を満たすには、「●音楽理論1(楽典)」「●音楽理論2(応用)」「●音楽理論3(音楽史)」「●作曲・編曲法1(基礎)」全ての単位修得が必要となります。

※4 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

●印：一般的包括的内容を含む科目

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

別表第8 中学校・高等学校(美術)

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
中学校	高等学校					
教科に関する専門的事項	絵画(映像メディア表現を含む。)	PJ2030	●絵画1 ^{*1※2}	1	S	¥150,000
		PJ3010	●映像メディア表現1 ^{*1※2}	1	S	¥150,000
		PJ2012	素描1 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2022	素描2 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3180	素描3 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2040	絵画2 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3020	映像メディア表現2 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2050	●彫塑1 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2060	彫塑2 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3030	●デザインA ^{*1※3}	1	S	¥150,000
	デザイン(映像メディア表現を含む。)	PJ3070	●映像メディア表現3 ^{*1※3}	1	S	¥150,000
		PJ3040	デザインB ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2130	構成基礎 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3052	平面構成 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3062	立体構成 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3080	映像メディア表現4 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3090	●工芸基礎A ^{*1}	1	S	¥150,000
	工芸	PJ3100	工芸基礎B ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3110	工芸A ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3120	工芸B ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ2070	●教職美術入門(鑑賞) ^{*1※4}	2	S	¥22,000
	美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	PJ2080	●美術理論1 ^{*4}	2	RT	
		PJ2100	●美術史概論 ^{*4}	2	RT	
		PJ2110	●日本・東洋美術史 ^{*4}	2	RT	
		PJ2090	美術理論2	2	RT	
		PJ3190	造形表現1 ^{*1}	1	S	¥150,000
		PJ3200	造形表現2 ^{*1}	1	S	¥150,000
		計		32		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PJ2120	美術科教育法1 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PJ3130	美術科教育法2 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PJ3140	美術科教育法3 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PJ3150	美術科教育法4 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		計		8		

※1 印の科目を履修するためには「入学選考試験(美術スクーリング必修科目)」の受験が必要です。▶042 ページ参照

※2 免許法施行規則に定める科目区分の『絵画(映像メディア表現を含む。)]の一般的包括的内容を満たすには、「●絵画1」、「●映像メディア表現1」両方の単位修得が必要になります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『デザイン(映像メディア表現を含む。)]の一般的包括的内容を満たすには、「●デザインA」、「●映像メディア表現3」両方の単位修得が必要になります。

※4 免許法施行規則に定める科目区分の『美術理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)]の一般的包括的内容を満たすには、「●教職美術入門(鑑賞)」、「●美術理論1」、「●美術史概論」、「●日本・東洋美術史」すべての単位修得が必要になります。

※5 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

別表第8 中学校・高等学校(英語)

(¥)：受講方法でSRを選択する場合にかかる費用

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		科目コード	本学開講科目名	単位	受講方法	スクーリング費用
教科に関する専門的事項	英語学	PK2010	●英語学概論	2	RT	
		PK2020	英文法	2	RT	
	英語文学	PK2032	●英語文学1 ^{*1}	2	RT	
		PK2041	●英語文学2 ^{*1}	2	RT	
	英語コミュニケーション	PK2050	●英語コミュニケーション1 ^{*2※4}	2	S	¥22,000
		PK2060	●英語コミュニケーション2 ^{*2※4}	2	S	¥22,000
		PK3010	●英語コミュニケーション3 ^{*2※4}	2	S	¥22,000
		PK3020	●英語コミュニケーション4 ^{*2※4}	2	S	¥22,000
		PK2070	●異文化理解1 ^{*3}	2	RT	
		PK3030	●異文化理解2 ^{*3}	2	RT	
		計		20		
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		PK2080	英語科教育法1 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PK3040	英語科教育法2 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PK3050	英語科教育法3 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		PK3060	英語科教育法4 ^{*5}	2	RTorSR	(¥11,000)
		計		8		

※1 免許法施行規則に定める科目区分の『英語文学』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●英語文学1」と「●英語文学2」両方の単位修得が必要になります。

※2 免許法施行規則に定める科目区分の『英語コミュニケーション』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●英語コミュニケーション1・2・3・4」すべての単位修得が必要になります。

※3 免許法施行規則に定める科目区分の『異文化理解』の一般的包括的内容を含む科目を満たすには、「●異文化理解1・2」両方の単位修得が必要になります。

※4 「英語コミュニケーション1・2・3・4」を受講するには、受講要件があります。▶048 ページ参照

※5 免許法施行規則に定める科目区分【各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)]については、本学開講科目のいずれの単位を修得した場合でも、法令上の科目区分を満たしたことになります。

募集・出願

学習方法

(1年次入学) 正科生

(2年次編入学) 正科生

(3年次編入学) 正科生

課程履修生 正科・

取得に必要な項目 教員免許・資格

履修生 科目等

認定通信生

特修生

Q & A

問合せ先等 諸規程・